

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）重点計画 中間評価書

令和5年10月20日
甲府市公共事業評価委員会

計画の名称	災害につよく安心・安全な街、甲府市の下水道施設改築更新計画（防災・安全）（重点計画）	計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	
計画の目標	下水道施設全体の強靱化を推進し、市民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全する強靱な社会の構築に貢献する。			
計画の成果目標（定量的指標）	番号1 液状化の起きやすい地域に位置する緊急輸送道路に埋設された管路施設の浮上防止対策実施率を48%（R2年度当初）から64%（R6年度末）に増加させる。 番号2 甲府市地域防災計画に位置付ける指定避難所のマンホールトイレ設置率を26%（R2年度当初）から53%（R6年度末）に増加させる。 番号3 処理場及びポンプ場施設の耐震化率を27.6%（R2年度当初）から48.3%（R6年度末）に増加させる。			
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の目標値及び実績値・想定値			
		計画当初 (R2年度当初)	中間年度 (R4年度末)	最終年度 (R6年度末)
番号1 浮上防止対策実施率 耐震診断の結果耐震性を有する又は対策を施した管路延長 (km) / 液状化の起きやすい地域に位置する緊急輸送道路に埋設された管路延長 (km)	目標値	48%	55%	64%
	実績値・想定値	48%	61%	70%
番号2 マンホールトイレ設置率 マンホールトイレ設置数 (箇所) / 甲府市地域防災計画に位置付ける指定避難所数 (箇所) ※全体計画区域外避難所は除く	目標値	26%	45%	53%
	実績値・想定値	26%	45%	52%
番号3 処理場及びポンプ場施設の耐震化率 処理場及びポンプ場施設の耐震性を有する施設数 (施設) / 処理場及びポンプ場の全施設数 (施設)	目標値	27.6%	40.2%	48.3%
	実績値・想定値	27.6%	41.4%	46.0%

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 (R4年度末)	番号1	下水道総合地震対策計画に基づき、液状化の起きやすい地域にある緊急輸送道路に埋設された管路施設の耐震診断調査や対策を進め、浮上防止対策実施率の向上を図った。
	番号2	下水道総合地震対策計画に基づき、甲府市地域防災計画に位置付けられた指定避難所にマンホールトイレを設置した。
	番号3	下水道総合地震対策計画に基づき、処理場及びポンプ場施設の耐震診断調査や対策を進め、耐震化率の向上を図った。

II 中間目標値の達成状況 (実績)	番号1 (浮上防止対策実施率)	中間目標値 (R4年度末)	55%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的に耐震診断調査や対策を進め、目標を達成した。
		中間実績値 (R4年度末)	61%		
	番号2 (マンホールトイレ設置率)	中間目標値 (R4年度末)	45%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的にマンホールトイレを指定避難所に設置し、目標を達成した。
		中間実績値 (R4年度末)	45%		
	番号3 (処理場及びポンプ場施設の 耐震化率)	中間目標値 (R4年度末)	40.2%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的に耐震診断調査や補強工事を実施し、目標を達成した。
		中間実績値 (R4年度末)	41.4%		

III 最終目標値の達成状況 (想定)	番号1 (浮上防止対策実施率)	最終目標値 (R6年度末)	64%	最終目標値達成 に向けた方針	最終目標値の達成に向けて、計画的に耐震診断調査や対策を引き続き進めていく。
		最終想定値 (R6年度末)	70%		
	番号2 (マンホールトイレ設置率)	最終目標値 (R6年度末)	53%	最終目標値達成 に向けた方針	中間年度は、目標値どおり進んでいるが、次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を修正する。 ●当初計画では、令和6年度に環境センターにマンホールトイレを設置する予定だったが、民間企業による跡地利用事業整備後の令和7年度に計画を変更したため。 【最終目標設置数】16箇所 / 58箇所[対象箇所]×100=27%より、26%[R2当初値]+27%=53% 【最終想定設置数】15箇所 / 58箇所[対象箇所]×100=26%より、26%[R2当初値]+26%=52%
		最終想定値 (R6年度末)	52%		
	番号3 (処理場及びポンプ場施設の 耐震化率)	最終目標値 (R6年度末)	48.3%	最終目標値達成 に向けた方針	中間年度は、目標値以上に進んでいるが、次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を修正する。 ●耐震補強工事を予定していた住吉中継ポンプ場内の合流雨水ポンプ場と池添ポンプ場は、耐震診断調査の結果より「建替えが有効」となり、対策変更に伴って、再調整や予算の確保等が必要なため。 【最終目標施設数】18施設 / 87施設[対象施設]×100=20.7%より、27.6%[R2当初値]+20.7%=48.3% 【最終想定施設数】16施設 / 87施設[対象施設]×100=18.4%より、27.6%[R2当初値]+18.4%=46.0%
		最終想定値 (R6年度末)	46.0%		

IV 最終目標値の達成に向けた対策	番号2 (マンホールトイレ設置率)	関係機関等と協議を進めながら、予算の確保や事業の適正な執行管理に努め、計画的なマンホールトイレ設置率の向上に取り組む中で、最終目標値を53%から52%へ下方修正し、令和6年度末の目標達成を目指す。 なお、「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定中であり、基準や目標値等の見直しに伴い、最終想定値が変更となる可能性がある。
	番号3 (処理場及びポンプ場施設の 耐震化率)	処理場及びポンプ場施設の耐震化対策の見直しに伴って、予算の確保や事業の適正な執行管理に努め、着実に施設の耐震化率の向上に取り組む中で、最終目標値を48.3%から46.0%へ下方修正し、令和6年度末の目標達成を目指す。 なお、「甲府市下水道総合地震対策計画（第4期）」を策定中であり、基準や目標値等の見直しに伴い、最終想定値が変更となる可能性がある。

※一部施設が通常計画の対象のため、番号3は「防災・安全交付金」番号2と同じ目標値である。

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）重点計画

